

# [1] 2019年度(第37回)永井財団「財団賞(学術賞・技術賞・奨励賞)」授賞者

[各賞50音順/敬称略]

## 〔学術賞の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
1	学術賞	かりた ごらつぷ Kalita Golap	名古屋工業大学 大学院工学研究科	グラフェンとセラミックス半導体材料の ヘテロ構造によるセンサー技術の研究 開発
2	学術賞	しばとみ かずたか 柴富 一孝	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 応用化学・生命工学系	ルイス酸触媒および有機分子触媒を 活用した有機分子の精密合成
3	学術賞	たなか まこと 田中 誠	ファインセラミックスセンター 材料技術研究所 先進構造材料グループ	耐環境性に優れた輻射熱反射保護 膜による先進的遮熱技術
4	学術賞	みかみ まさし 三上 祐史	産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 電子セラミックスグループ	粉末冶金技術を用いた熱電変換材 料の実用化研究
5	学術賞	やまもと ひろし 山本 浩史	分子科学研究所 協奏分子システム研究センター	有機伝導体のナノ薄膜化とエレクトロ ニクス素材への展開

## 〔技術賞の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
6	技術賞	くりた しょうぞう 栗田 省三	株式会社クリエイトエンジニア リング	小型・軽量・低価格の自動切粉破碎 圧縮機の開発および製品化
7	技術賞	さわだ かずあき 澤田 和明	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 電気・電子情報工学系	半導体センサ技術による化学物質イ メージングシステムの開発
8	技術賞	たがみ たつあき 田上 辰秋	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 薬物送達学分野	医薬品の3Dプリント製造技術に求め られる新規製剤処方に関する基盤研 究
9	技術賞	たなか ひろし 田中 浩	愛知工業大学 工学部 機械学科	切削工具を長寿命化する電界砥粒 制御・均一刃先研磨加工の研究
10	技術賞	のむら ひろし 野村 浩	ファインセラミックスセンター 材料技術研究所 先進構造材料グループ	焼結シミュレーションによる素形材ブ ロセスの高度化支援

## 〔奨励賞の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
11	奨励賞	おがわ たかふみ 小川 貴史	ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所 計算材料グルー プ	ラマン分光法・第一原理計算を用い た新規環境遮蔽コーティング材料中 の残留応力解析手法の開発
12	奨励賞	むかい やすひと 向井 康人	名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻	ナノファイバー膜の機能創出と分離 プロセスへの応用
13	奨励賞	やなせ あきひこ 柳瀬 明彦	名古屋大学 大学院経済学研究科	公共財としての企業のイノベーション 活動に関する経済分析
14	奨励賞	やまだ やすせい 山田 保誠	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 光熱制御材料グループ	反射型調光材料「調光ミラー」のスイ ッチング繰り返し耐久性と光学特性の 向上に関する研究

[2] 2019年度 永井財団「研究奨励金」・「共同研究奨励金」・「素形材融合分野奨励金」  
 ・「特定課題研究奨励金」 授賞者

[各50音順／敬称略]

〔研究奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
1	研究奨励金	あかまつ たかふみ 赤松 貴文	産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門	セラミックスを用いたガスセンサに関する研究
2	研究奨励金	うちやま みねと 内山 峰人	名古屋大学 大学院工学研究科 有機・高分子化学専攻	分解性を有する新規含硫黄高分子材料の開発
3	研究奨励金	かわの たけし 河野 剛士	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 電気・電子情報工学系	世界最小の神経電極デバイスが可能とする脳インタフェース技術
4	研究奨励金	しらい たかし 白井 孝	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専攻	革新的局所反応場制御プロセスによる無焼成電磁波吸収セラミックスの開発
5	研究奨励金	すえひろ さとし 末廣 智	ファインセラミックスセンター 材料技術研究所	レーザー直接加熱による高熱伝導性窒化アルミニウム基板の開発
6	研究奨励金	てらさか そうた 寺坂 宗太	ファインセラミックスセンター 材料技術研究所	粉末冶金製造プロセスのシミュレーション基盤技術の開発
7	研究奨励金	まつなみ まさはる 松波 雅治	豊田工業大学 エネルギー材料研究室	強相関電子系を用いた熱電冷却材料の開発

〔共同研究奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
8	共同研究奨励金	かつい ひろかず 且井 宏和	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 循環材料グループ	<b>グループ名:</b> セラミックス表面改質グループ 炭化ケイ素材へのCVDアルミナ被覆技術開発による耐水環境性表面の創出
		こんどう そうすけ 近藤 創介	東北大学 金属材料研究所	
9	共同研究奨励金	やお よんちやお 姚 永昭	ファインセラミックスセンター材料技術研究所	<b>グループ名:</b> 次世代パワーデバイス用素形材半導体基板創成グループ 超高耐圧パワーデバイスに使用可能な素形材β型酸化ガリウムの欠陥評価法の開発
		ちん じゅん 陳 君	物質・材料研究機構 ナノ電子デバイス材料グループ	

〔素形材融合分野奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
10	素形材 融合分野 奨励金	たまり あきら 玉森 聡	愛知工業大学 情報科学部 情報科学科	素形材製造機器における異常音検知 のための機械学習手法の開発
11	素形材 融合分野 奨励金	てろう りゅうご 手老 龍吾	豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科 応用化学・ 生命工学系	蛍光一分子観察のための人工細胞膜/ グラフェン酸化物複合系の開発

〔特定課題研究奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
12	特定課題 研究奨励金	おおむら れん 大村 廉	豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科情報・知能 工学系	座金型締結力センサによるボルト緩み 自動識別手法の検討
13	特定課題 研究奨励金	ふじえだ なおき 藤枝 直輝	愛知工業大学 工学部 電気学科	FPGAを用いた超低コスト画像処理向 け技術に関する研究
14	特定課題 研究奨励金	むとう あつこ 武藤 敦子	名古屋工業大学 大学院工学研究科	ロケーションデータからの時系列行動 パターンの分析

〔3〕「2019年度 国際交流助成金」交付者  
〔2019年度上期〕（4名）

〔渡航日順／敬称略〕

No	申請者氏名	所属	国際交流目的	渡航先・日程
1	あらかわ ゆうき 荒川 優樹	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 応用科学・生命工 学系	第15回欧州液晶国際会議にて、これまで取り組んできた硫黄系液晶材料に関する研究を発展させ、硫黄を導入した屈曲型の分子が、熱をかけて融解した後にナノスケールのらせん状に再配列する、新しい液晶分子材料硫黄系液晶材料に関する研究について研究成果発表する。また共同研究先とのディスカッションを行う。	ポーランド ヴロツワフ 2019/7/1～7/8
2	おおまち はるか 大町 遼	名古屋大学 物質科学国際研究 センター	第16回ナノサイエンス・ナノテクノロジー（NN19）に関する国際会議にて、グラフェンの表面に硫黄官能基を導入する改質方法を開発しており、それを利用した金属クラスター担持とバッテリー応用について研究成果発表と研究交流	ギリシャ テッサロニキ 2019/7/1～ 7/7
3	すみい ゆうじ 住井 裕司	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専 攻	基礎科学に関する国際会議（IFSC2019）にて、不凍作用という性質に着目した新規不凍作用物質の開発について発表、着氷・着霜阻害剤など凍結に関わる多くの産業に応用が期待され、異分野の融合した学会で研究発表を通して国際共同研究の機会を探る	マレーシア クアラルン プール 2019/10/29～ 11/1
4	ひきま かずひろ 引間 和浩	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工 学系 材料エレクトロニ クス分野	電気化学デバイスの材料科学、電気化学に関する国際会議（ACEPS10-2019）にて、「液相加振法による新規 $\text{Li}_7\text{P}_2\text{S}_8\text{I}$ 固体電解質の材料合成と、全固体デバイスへの応用」に関する研究成果発表と最新研究動向の把握と研究者との研究ネットワーク構築	台湾 高雄市 2019/11/23～ 11/27

〔4〕「2019年度 大学院生海外研修助成金」交付者  
〔2019年度上期〕（7名）

〔渡航日順／敬称略〕

No	申請者氏名	所 属	研 修 目 的	渡航先・日程
1	つじ やすたか 辻 泰隆	名古屋大学 大学院工学研究科	留学先の Robert Phipps 研究室にてクロスカップリング反応における複数の選択制を制御するための配位子の設計に関する研究を行う。クロスカップリング反応の自由度を高め、有機 EL 材料等、新規機能性材料開発の可能性を大きく広げるものである。	イギリス ケンブリッジ 2019/7/1～ 8/31
2	いとう ゆうき 伊藤 右貴	名古屋市立大学 大学院芸術工学研究科	生体医工学分野の国際会議 (IEEE EMBC 2019) にてデブスカメラの情報から人の心身状態を推定し、製品の使用感や使用時の負担を評価することを目的とする研究に関する研究発表と医療機器や日用製品等に対する製品デザイン提案・評価に資する情報収集	ドイツ ベルリン 2019/7/23～ 7/27
3	さわい しん 澤井 慎	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	45th International Conference on Micro & Nano Engineering(MNE2019) にて細胞核内デリバリーを臨床に用いるために細胞の生存率、導入率を評価して、Ti 薄膜の膜厚、パターンニングの大きさを与える細胞への影響を調べた。その研究成果を発表、臨床応用の展開を図る	ギリシャ ロードス島 2019/9/22～ 9/26
4	にしだ りょうや 西田 亮也	名古屋大学 大学院工学研究科	Materials Science & Technology (MS&T2019)にて積層造形マルエージング鋼の造形条件と特性の関係に関する研究成果発表と研究交流	米国 ポートランド 2019/9/29～ 10/3
5	さかきばら だいき 榑原 大貴	愛知県立大学 大学院情報科学研究科	第26回国際 ITS 会議 (ITSWC) にて「移動体の自己位置推定技術をインフラからサポートする移動走査コードの実用化に向けた技術」について研究成果発表を行うとともに位置情報以外の動的情報提供とくにスマートファクトリーに資する移動走査コードの応用に関する技術動向調査	シンガポール サンテックシテイ 2019/10/21 ～10/25
6	こまぶち まい 駒淵 舞	名古屋工業大学 大学院工学研究科	16th Conference of the Asian Crystallographic Association (AsCa2019) にて X 型六方晶フェライト Sr <sub>2</sub> Co <sub>2</sub> Fe <sub>28</sub> O <sub>46</sub> の単結晶育成に成功し、特異な結晶磁気異方性およびスピン再配列転移を見出した。結晶構造および磁気構造の詳細とその特異な磁気異方性の起源について報告し、その研究成果を発表と研究交流	シンガポール シンガポール 国立大学 2019/12/16 ～12/21

No	申請者氏名	所属	研修目的	渡航先・日程
7	やまもと ゆうた 山本 裕太	名古屋工業大学 大学院工学研究科	Ge の多結晶を高輝度なナノビームを扱うことができる放射光施設 MAX IV の NanoMAX ビームラインで整備された極微集光X線を用いて蛍光X線ホログラムを測定し、セラミックスなどの多結晶材料への応用可能性を実証する。	スウェーデン ルンド 2020/1/10～ 1/16
—	むらた よしあき 村田 芳明	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	236th Electrochemical Society (ECS) Meeting にてカルシウムイオン電池の電解液の改良による電池性能の改善に関する研究成果発表と電解液設計に関する研究交流を図る	米国 アトランタ 2019/10/13 ～10/17 〔交付辞退〕

## 〔2019年度下期〕（5名）

〔渡航日順／敬称略〕

No	申請者氏名	所属	研修目的	渡航先・日程
—	あんどう しょうた 安藤 将太	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	THERMEC'2020 にて、新規無機材料蛍光体の合成と発光特性についてのポスター発表を行う。世界の材料分野の専門家と本研究についての議論を行い、様々な視点からの意見をいただく機会とする。	オーストリア ウィーン 2020/5/30～ 6/6 〔交付辞退〕
—	きむ すんぐあん 金 昇光	名古屋大学 大学院工学研究科	International conference on Processing & manufacturing of advanced materials (Thermec 2020) にて、樹脂との接合用金属素形材（表面に多孔質層を付与した金属基板）の作製プロセスに関する発表と研究動向調査	オーストリア ウィーン 2020/5/31～ 6/5 〔交付辞退〕
—	むらた かずまさ 村田 和優	名古屋大学 大学院工学研究科	第17回触媒国際会議(17th ICC)にて金属一酸化物間の相互作用を利用したパラジウム(Pd)ナノ粒子の酸化還元性の制御とメタン燃焼反応における触媒性能についてその研究成果を発表と研究交流	米国 サンディエゴ 2020/6/13～ 6/20 〔交付辞退〕
—	かとう まさと 加藤 正都	大同大学 大学院工学研究科	第17回プラズマ表面工学国際会議(PSE 2020)にてEBEP法による窒化処理が形成された化合物層、拡散層が疲労強度にどのように影響するか明らかにした。その研究成果発表と関連分野の研究交流と調査	ドイツ ガルミッシュパ ルテンキルヘン 2020/9/6～ 9/11 〔交付辞退〕
—	やまもと かな 山本 樺奈	名古屋工業大学 工学部	Bioceramics 32 にてリン酸カルシウム粒子を生分解性樹脂に埋め込んだ複合材料を綿形状化する新しい方法を開発した研究内容を発表するとともに、ISIPM-11 に出席して、リン酸カルシウム粒子の機能高度化策に関して情報収集と研究交流を図る。	イタリア ヴェネツィア 2020/10/19 ～11/1 〔交付辞退〕

〔5〕「2019年度 科学技術育成教育助成金」交付者  
〔2019年度上期〕（5件）

〔開催日順／敬称略〕

No	申請者	事業目的	開催場所・日程
1	SSH東海 フェスタ 2019 実行委員会	愛知県内のスーパーサイエンス・ハイスクール指定校が結集して研究開発の成果を発表し、情報交換して刺激を与える場とする SSH 東海フェスタ 2019	名城大学 天白校舎 2019/7/13(土)
2	国立大学法人 名古屋工業大学 ダイバーシティ 推進センター	愛知県の製造業では、女性技術者の長期的な就労と専門性を活かしたキャリア形成を可能にする基盤構築が急務となっている。本養成塾はこの課題の克服に向けて、女性技術者個人と所属組織の双方向からの意識改革を目指す。受講者が(1)自身のキャリア形成を主体的に計画する意識を持ち、(2)理論に裏付けられた品質管理術、組織運営術を学び、現場での問題解決に役立つ技能を習得することを目的としている。	名古屋工業大学 2019/9～11月 4回 9/3(火)、9/24(火)、 10/8(火)、11/1(金)
3	高校化学 グランドコンテスト 実行委員会	全国の高校生及び工業高等専門学校生(3年生以下)が自主的な化学的研究活動の成果を発表し、優秀な研究成果に対して表彰する。最終選考1日目にはポスター発表を行い、2日目に選抜上位 10 チームによる口頭発表、および海外(台湾・シンガポールを予定)からの招へい校による講演、日本の最先端の科学研究者による特別講演を行う。	大阪市立大学 杉本キャンパス 2019/10/26(土)～27 (日)
4	日本ボーイスカウト 愛知連盟 青少年のための「無線 通信技術」修得研修会	青少年が IT 技術の基礎の一つである{アマチュア無線技士4級}の資格を取得すること及び世界のアマチュア無線家との交信を体験することにより、なお一層科学技術に興味を持つことを目的とする「無線通信技術」を修得する研修会	名古屋東別院会館 2019/8/17、8/18 日本ボーイスカウト 愛知連盟野営場 2019/12/7(土)～8 (日)
5	青少年のための 科学の祭典 2019 東三河大会実行委員会	小中学生を対象に、実験や工作等を通じて科学技術の楽しさ、発見、感動を実感できる場を提供し、青少年の科学技術への理解の増進と関心を喚起する科学祭典 2019・東三河大会	豊橋こども未来館 2020/1/25(土)～26 (日)

〔2019年度下期〕（1件）

〔開催日順／敬称略〕

No	申請者	事業目的	開催場所・日程
6	女子中学生のための 女子学生によるモノづ くり講座	鋳造品のオリジナルマグネットの製作を通じて鋳造加工技術を体験し、女子中学生にモノづくりの楽しさや難しさを伝え、機械工学の魅力を感じてもらうことを目的とする。 男女共同参画社会の実現のための啓蒙活動 対象者:女子中学生 25名	豊田高専 モノづくりセンター他 2020/8/7(金)